

高1クラス設定 英語・数学

難関大学現役合格というゴールは同じでも、

既に高校内容を学習している中高一貫校生と、高1から高校内容の学習をスタートする公立高校生、

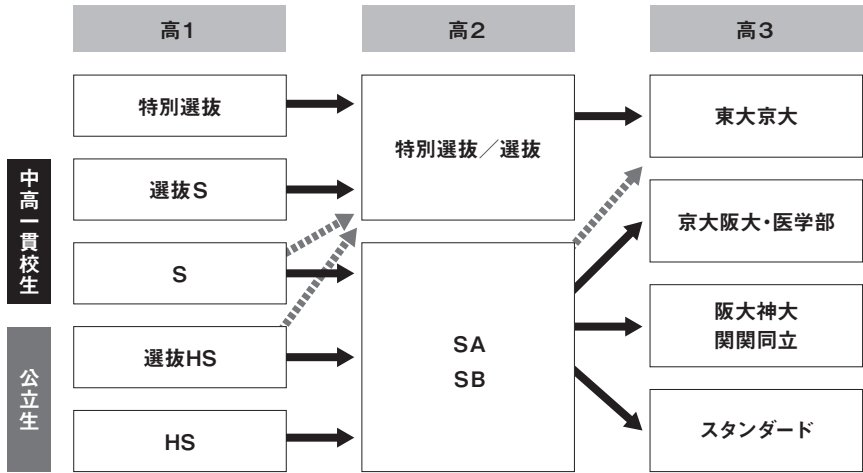
今いる場所によって「目標への道のり」は違うから。

それぞれに合った進度やレベルで進める講座を用意しています。

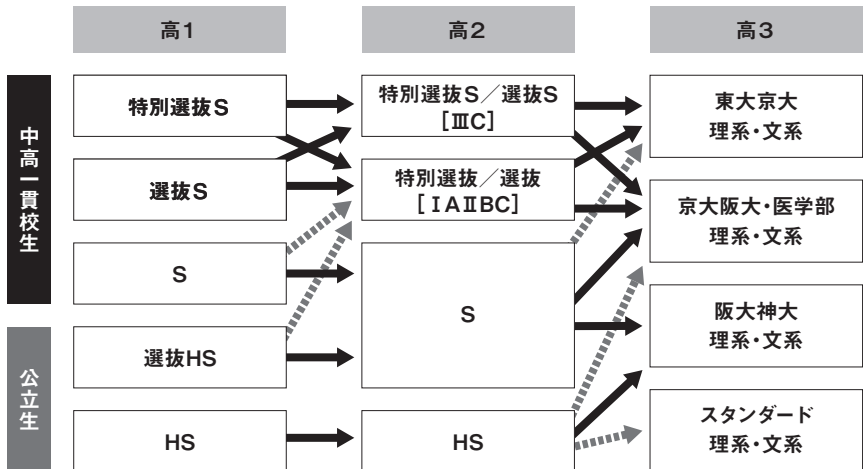
志望大学レベル	中高一貫高校にお通いの方	高校受験をされた方
東大・京大	特別選抜(英語)	
	特別選抜S(数学)	
東大・京大・阪大・医学部	選抜S	選抜HS
京大・阪大・神大 その他難関国公立大 ・難関私大	S	HS

※「特別選抜」や「選抜」の後ろにSがついているものは中高一貫校生対象、Sがついていないものは公立生も対象となるクラスです。

英語



数学



高1英語選抜HS

講座案内 学校の授業と並行学習できるカリキュラムで、高校英文法を徹底的に指導します。英文解釈や長文読解、英作文の演習を並行して進めることで、最難関大学に対応できるレベルまで英語運用能力を高めていきます。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学など

使用教材 【テキスト】『INTEGRATION I』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称「ぼん単」）

指導内容と目的

概論 ▶ 最難関大学現役合格への礎をつくる

本講座では、これから高校英文法を学習する人を対象に、最難関大学に現役合格するための礎を最短ルートで構築することを目指します。本来、文法事項は文脈の中にあって初めて本当の意味で理解されるものです。筆者がなぜその文法事項を用いたのか、書き手の意図まで読み取る英語的発想を身につけるためにはやはり文脈が必要になります。本講座では、文法事項が実際に英文の中で用いられている文脈や筆者の心情まで考慮に入れ、ネイティブ・スピーカーがどのような思考回路を辿って英文を表現したのかを論理的に解明しながら、最難関大学で求められる英語運用能力を習得していきます。

4月～夏期 ▶ 英文法の土台を構築する

この時期は、「文型」「時制」「態」を通じて「文の成り立ち」を知り、「助動詞」を通じて文章に「感情を乗せる」方法を習得し、そして「準動詞」を通じて「文の情報量を増やす」技術を学びます。英文法はとすれば「暗記するもの」と割り切ってしまう向きもありますが、研伸館はそのような立場を取りません。ネイティブ・スピーカーの感覚を短期間で効率良く習得するためには、ただ覚えるだけでなく深い理解が不可欠です。もちろん、英語が言語である以上、「語彙力」の強化は絶対不可欠です。授業で登場する英単語はもちろんですが、「ぼん単」からも範囲を指定して単語テストを実施します。

9月～12月 ▶ 英文法の体系を完成させる

夏までに確立した英文法の土台の上に「関係詞」「比較」「仮定法」を通じて「表現の多様性」を構築していきます。これらの単元をマスターするには、夏期までに扱った内容—「関係詞」「比較」は「文型」や「品詞」、「仮定法」は「時制」や「助動詞」—の習得が前提となるので、既習単元の知識をより高いレベルで運用できるよう実践練習にも取り組んでいきます。この時期になると英文解釈や基礎的な英作文に取り組む素地が仕上がってきますので、扱う問題の割合も「文法問題」から「和訳」や「英作文」へとシフトしていきます。もちろん、「語彙力」の強化についても引き続き授業内で取り組んでいきます。

冬期～2月 ▶ 構文の理解を深める

冬期からは「節」「無生物主語構文」「it構文」といった英語構文の学習に進んでいきます。構文はただ「暗記するもの」と思われがちですが、筆者がその構文を用いた意図に注目することで、それぞれの構文についての本質的な理解に辿り着くことができます。このプロセスと並行して、やや長めの「英文読解」にも取り組んでいきます。「文脈把握」や「英文和訳」など、実際の大学入試で大いに役立つ実践的技能的習得も図っていきます。この時期になると「語彙力」の強化は自発的に取り組むものになっているのですが、授業内でも引き続き単語テストを行っていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法	構文	英文解釈	読解総合	英作文
4月期	第1回	文型と動詞①	●	●		●		
	第2回	文型と動詞②	●	●		●		
	第3回	時制①	●	●		●		
5月期	第1回	時制②	●	●		●		
	第2回	助動詞①	●	●		●		
	第3回	助動詞②	●	●		●		
6月期	第1回	態の理解	●	●		●		
	第2回	不定詞	●	●		●		
	第3回	不定詞と動名詞	●	●		●		
7月期	第1回	分詞	●	●		●		
	第2回	分詞構文	●	●		●		
	第3回	総合演習①	●	●		●		●
夏期講習① 高1英語選抜HS[前編：構文把握]		動詞の語法と態（発展）	●	●		●		●
		時制と助動詞（発展）	●	●		●		●
		不定詞（発展）	●	●		●		●
		動名詞・分詞（発展）	●	●		●		●
		総合演習②	●	●		●		●
夏期講習② 高1英語選抜HS[後編：読解入門]		英文読解入門①	●		●	●	●	
		英文読解入門②	●		●	●	●	
		英文読解入門③	●		●	●	●	
		英文読解入門④	●		●	●	●	
		英文読解入門⑤	●		●	●	●	
9月期	第1回	関係詞①	●	●		●		
	第2回	関係詞②	●	●		●		
	第3回	関係詞③	●	●		●		
10月期	第1回	比較①	●	●		●		●
	第2回	比較②	●	●		●		●
	第3回	比較③	●	●		●		●
11月期	第1回	仮定法①	●	●		●		●
	第2回	仮定法②	●	●		●		●
	第3回	名詞・代名詞	●	●		●		●
12月期	第1回	形容詞・副詞	●	●		●		●
	第2回	時制の一致と話法	●	●		●		●
	第3回	総合演習③	●	●	●	●		●
冬期講習① 高1英語選抜HS[英文読解]		名詞節と同格	●		●	●		●
		形容詞節	●		●	●		●
		副詞節	●		●	●		●
		総合演習④	●	●	●	●		●
冬期講習② <OD>高1英語 [新学年へのステップストーン]		文法・構文の実戦演習I	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習II	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習III	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習IV	●	●	●	●	●	
1月期	第1回	形式主語・形式目的語構文	●		●	●		●
	第2回	itの識別	●		●	●		●
	第3回	無生物主語構文	●		●	●		●
2月期	第1回	相関構文・否定	●		●	●		●
	第2回	倒置・省略	●		●	●		●
	第3回	総合演習⑤	●		●	●		●

高1英語HS

講座案内 学校の授業と並行学習できるカリキュラムで、高校英文法を初めから丁寧に指導していきます。高校生が身につけるべき英文法・構文の知識を1年間で網羅するカリキュラムで、高校の英語学習を先取りするのはもちろんですが、大学入試に向けて英文法・構文の確かな土台を構築していきます。

この講座からの合格大学 大阪大学、神戸大学、関関同立など

使用教材 【テキスト】『INTEGRATION I』／【補助教材】『ぼんぼん出てくる英単語』（通称『ぼん単』）

指導内容と目的

概論 ▶ 高校英文法の礎をつくる

本講座では、これから高校英文法を学習する人を対象に、来たるべき大学入試を見据えつつ、英語学習の土台となる「文法」と「構文」の知識を習得・運用する力を育成することを目指します。これらの知識は、理解のプロセスなしで「丸暗記」するにはあまりに膨大な量になります。本講座では、文法事項が実際に英文の中で用いられている文脈や筆者の心情まで考慮に入れ、ネイティブ・スピーカーがどのような思考回路を辿って英文を表現したのかを論理的に解明しながら、生涯にわたって役立つ実践的な英語運用能力の習得を目指します。

4月～夏期 ▶ 英文法の土台を構築する

この時期は、「文型」に始まり、「準動詞」という多くの高校生がたずまぎがちな英文法の難所へと学習を進めていきます。この時期の授業内容に共通して求められるのは、「動詞の語法」の理解です。動詞が状況に応じて形を変えるメカニズムと、その裏に込められている書き手（話し手）の意図を知ること、英語の文章を読み解く「楽しさ」を感じることができます。もちろん、英語が言語である以上、「語彙力」の強化は必要不可欠です。授業で登場する英単語はもちろんですが、「ぼん単」からも範囲を指定して単語テストを実施します。

9月～12月 ▶ 英文法の体系を完成させる

この時期は「関係詞」「比較」「仮定法」など、より発展的な文法項目を扱います。これらの単元をマスターするには夏期までに扱った内容（「関係詞」は「準動詞」、「比較」は「文型」や「品詞」、「仮定法」は「時制」や「助動詞」）の習得が前提となります。既習単元の知識をより高いレベルで運用できるよう実践練習にも取り組むことで、それぞれの文法単元を有機的に結びつけて英文法の体系を完成させていきます。もちろん、「語彙力」の強化についても引き続き授業内で取り組んでいきます。

冬期～2月 ▶ 構文を知り、英文を読み解く

冬期からは「節」「無生物主語構文」「it構文」といった英語構文の学習に進んでいきます。構文はただ「暗記するもの」と思われがちですが、筆者がその構文を用いた意図に注目することで、それぞれの構文についての本質的な理解に辿り着くことができます。このプロセスと並行して「英文読解」にも取り組み、実際の大学入試でも役立つ実践的スキルを習得も図っていきます。この時期になると「語彙力」の強化は自発的に取り組むものになっているでしょうが、授業内でも引き続き単語テストを行っていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

			語彙	文法	構文	英文解釈	読解総合	英作文
4月期	第1回	文型と動詞①	●	●				
	第2回	文型と動詞②	●	●				
	第3回	時制①	●	●				
5月期	第1回	時制②	●	●				
	第2回	助動詞①	●	●				
	第3回	助動詞②	●	●				
6月期	第1回	態の理解	●	●				
	第2回	不定詞	●	●				
	第3回	不定詞と動名詞	●	●				
7月期	第1回	分詞	●	●				
	第2回	分詞構文	●	●				
	第3回	総合演習①	●	●		●		●
夏期講習① 高1英語HS[前編：構文把握]		動詞の語法と態（発展）	●	●		●		●
		時制と助動詞（発展）	●	●		●		●
		不定詞（発展）	●	●		●		●
		動名詞・分詞（発展）	●	●		●		●
		総合演習②	●	●		●		●
夏期講習② 高1英語HS[後編：読解入門]		英文読解入門①	●		●	●	●	
		英文読解入門②	●		●	●	●	
		英文読解入門③	●		●	●	●	
		英文読解入門④	●		●	●	●	
		英文読解入門⑤	●		●	●	●	
9月期	第1回	関係詞①	●	●				
	第2回	関係詞②	●	●				
	第3回	関係詞③	●	●				
10月期	第1回	比較①	●	●				●
	第2回	比較②	●	●				●
	第3回	比較③	●	●				●
11月期	第1回	仮定法①	●	●				●
	第2回	仮定法②	●	●				●
	第3回	名詞・代名詞	●	●				●
12月期	第1回	形容詞・副詞	●	●				●
	第2回	時制の一致と話法	●	●	●			●
	第3回	総合演習③	●	●	●	●		●
冬期講習① 高1英語HS[英文読解]		名詞節と同格	●		●	●		
		形容詞節	●		●	●		
		副詞節	●		●	●		
		総合演習④	●	●	●	●		●
冬期講習② <OD>高1英語 [新学年へのステップストーン]		文法・構文の実戦演習I	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習II	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習III	●	●	●	●	●	
		文法・構文の実戦演習IV	●	●	●	●	●	
1月期	第1回	形式主語・形式目的語構文	●		●	●		●
	第2回	itの識別	●		●	●		●
	第3回	無生物主語構文	●		●	●		●
2月期	第1回	相関構文・否定	●		●	●		●
	第2回	倒置・省略	●		●	●		●
	第3回	総合演習⑤	●		●	●		●

高1数学選抜HS【4月期～】(120分×2)

講座案内 高校数学を1から学び、高2スタート時までに私立中高一貫校の進度に追いつき、本気で東大・京大・阪大（主に理系学部）・国公立大（医）などを目指す高1生対象の講座です。7月までで数学IAの重要単元を学習し、夏期から数学IIBCの学習に入ります。週2回講義をしっかりと受講すれば、高1時に数学IAIIBCを修了し、高2以降十分な演習時間を確保できます。「数学C：平面上の曲線」は秋の特別講座で扱います。

この講座からの合格大学 東京大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、国公立医学部医学科など

使用教材 【テキスト】『高校数学 速習編』／【補助教材】『Weekly Practice』

指導内容と目的

春 期 ▶ 高校数学の基礎を身に付ける

これから学ぶ高校数学の土台を築いていきます。中学数学と比べると高校数学では扱う文字が多く、次数が高い式が登場します。まずはこれらの展開・因数分解を扱っていきます。さらに文字定数を含んだ方程式や不等式を扱うことで高校数学で頻繁に登場する「場合分け」の概念を学びます。中学数学と高校数学の共通点と相違点を意識しながら理解することが重要であり、さらに自ら正しい解答が書けるように訓練することで定着を図ります。

4月～7月 ▶ 数学IAの基礎理論から標準理論を定着させる

数学IAの主要単元である「数学I：2次関数・図形と計量（三角比）」、「数学A：場合の数と確率・数学と人間の活動（整数）」を扱います。特に「2次関数」、「三角比」は数学II以降の学習の基礎となる部分ですから、先を見越して無理なく定着できるようにしていきます。また「場合の数と確率」や「整数問題」は入試では頻出の単元ですが、問題のパターンが多いので、核となる考え方を押さえて効率よく学習していきます。

夏期～2月 ▶ 数学IIBC(ベクトル)の基礎理論から標準理論を定着させる

いよいよ数学IIBCの学習に入ります。数学IIでは主に関数を扱うことになりますが、この分野は入試で頻出であることに加え、理系では数学IIIの学習の基礎となる部分です。公式の丸暗記ではなく、正しい理解の元で問題を解く手順を身に付けていきます。また「数学B:数列」や「数学C:ベクトル」といった難解な単元も扱いますが、基礎から丁寧に学び、無理なく定着させていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		単元	科目	授業形式	備考		
春期講習		式と計算	数学I				
4月期	第1回	集合と要素の個数／順列	場合の数・確率	数学A			
	第2回	いろいろな順列／組合せ					
	第3回	確率①／確率②					
5月期	第1回	2次関数の決定／最大・最小①	2次関数	数学I			
	第2回	最大・最小②／2次不等式					
	第3回	2次方程式／2次関数まとめ					
6月期	第1回	三角比の定義／三角比の相互関係	図形と計量(三角比)		2次関数既習であること		
	第2回	三角比を含む方程式・不等式／正弦定理・余弦定理					
	第3回	三角形の面積／三角比まとめ					
7月期	第1回	約数・倍数／ n 進法	数学と人間の活動 (整数問題)	数学A			
	第2回	1次不定方程式／不定方程式					
	第3回	合同式／整数のまとめ					
夏期講習		弧度法・一般角	三角関数	数学II	2次関数・三角比既習であること		
		加法定理					
		2倍角の公式・半角の公式					
		三角関数の合成					
		和→積の公式と積→和の公式	指数関数・対数関数		2次関数既習であること		
		指数の拡張					
指数関数							
指数の発展問題・対数の定義							
対数関数①							
対数関数②							
9月期	第1回	整式の除法／因数定理と解と係数の関係	方程式と複素数	単元導入			
	第2回	点・直線・円①／点・直線・円②	図形と方程式				
	第3回	点・直線・円③／軌跡①					
10月期	第1回	軌跡②／領域①	図形と方程式／数列			数学II・数学B	
	第2回	領域②／等差数列					
	第3回	等比数列／ Σ (シグマ)の計算					
11月期	第1回	和の応用①／和の応用②	数列	数学B			
	第2回	漸化式①／漸化式②					
	第3回	数学的帰納法／数列のまとめ					
12月期	第1回	微分係数・導関数／接線・法線	微分法	数学II			
	第2回	関数の増減／極大・極小					
	第3回	最大・最小／方程式・不等式への応用					
冬期講習		積分の計算	積分法		数学B	微分法(数II)既習であること	
		面積の計算①					
		面積の計算②					
		定積分で表された関数	統計的な推測	積分法(数II)・数列(数B)既習であること			
		平均・分散・標準偏差					
		二項分布・連続型確率分布					
正規分布と正規分布による二項分布の近似							
統計的な推測							
1月期	第1回	ベクトルの基礎／位置ベクトル	平面ベクトル	数学C			
	第2回	成分／内積					
	第3回	ベクトル方程式①／ベクトル方程式②					
2月期	第1回	空間ベクトルの基礎／平面のベクトル方程式	空間ベクトル		平面ベクトル既習であること		
	第2回	空間内の直線／球面のベクトル方程式					
	第3回	平面の方程式／空間ベクトルのまとめ					

※未習単元がある場合は講師・進学アドバイザーにご相談ください。

高1数学HS【4月期～】

講座案内 高1から高校内容を開始する進捗で学習を進めている公立高校生を対象とするクラスです。高1の間に数学Ⅰ・数学Aと数学Ⅱの一部までを学習します。まずは土台となる定理や公式を紹介し、それを用いて学校の定期試験にも直結する実践的な問題を例題を交えながら丁寧に解説していきます。さらにテキストには授業で扱う例題や実践問題のほかに関連問題が掲載されているので、自分で実際に解いてみることで定着度合いを図ることができ、計算力強化にもつながります。

この講座からの合格大学 京都大学、大阪大学、神戸大学、大阪公立大学など

使用教材 【テキスト】『高校数学 導入編』／【補助教材】『Weekly Practice』

指導内容と目的

春 期 ▶ 高校数学の基礎を身に付ける

これから学ぶ高校数学の土台を築いていきます。中学数学と比べると高校数学では扱う文字が多く、次数が高い式が登場します。まずはこれらの展開・因数分解を扱っていきます。さらに文字定数を含んだ方程式や不等式を扱うことで高校数学で頻繁に登場する「場合分け」の概念を学びます。中学数学と高校数学の共通点と相違点を意識しながら理解し、さらに自分の手で正しい解答が書けるように訓練することで定着を図ります。

4月～11月 ▶ 数学ⅠAの基礎理論を定着させる

数学ⅠAの主要単元を学習していきます。7月期までに「数学Ⅰ：2次関数」と「数学A：場合の数と確率」を扱います。夏期講習では「数学Ⅰ：2次関数」をもう一度復習しつつ発展的な問題にも挑んでいくとともに、「数学A：数学と人間の活動」の中から入試頻出の整数問題を新しく扱っていきます。9月期からは「数学Ⅰ：図形と計量（三角比）」と「数学A：図形の性質」といった図形分野をメインに扱います。いずれの単元も後の学習の基本となる部分なのでしっかりと定着するようにしていきます。

12月～2月 ▶ 数学Ⅱの学習をスタート！

いよいよ数学Ⅱの学習に入っていきます。12月期には「数学Ⅱ：複素数と方程式」、冬期講習には「数学Ⅱ：式と証明」を扱います。1月期からは「数学Ⅱ：図形と方程式」で、中学で学んだ座標をさらに深めていきます。直線や円の方程式だけでなく、軌跡や領域といった入試頻出の単元を扱っていきます。

年間指導カリキュラム

※カリキュラムは変更する場合があります。

		単元	科目	授業形式
春期講習		式と計算 (展開/因数分解/絶対値・平方根/定数・変数の概念)	式と計算	数学I
4月期	第1回	集合と命題①	集合と命題	単元導入
	第2回	集合と命題②		
	第3回	順列①		
5月期	第1回	順列②	場合の数と確率	数学A
	第2回	組合せ		
	第3回	確率の計算①		
6月期	第1回	確率の計算②	2次関数	数学I
	第2回	2次関数の決定		
	第3回	2次関数の最大最小①		
7月期	第1回	2次関数の最大最小②	2次関数	数学I
	第2回	2次不等式		
	第3回	2次方程式と2次関数		
夏期講習		約数・倍数・ユークリッドの互除法 1次不定方程式 不定方程式 合同式 n進法 2次関数総点検① 2次関数総点検② 2次関数総点検③ 2次関数総点検④ 2次関数総点検⑤	数学と人間の活動 (整数問題)	数学A
9月期	第1回	三角比の古典的定義	2次関数	数学I
	第2回	三角比の相互関係		
	第3回	三角比を含む方程式・不等式		
10月期	第1回	正弦定理	図形と計量 (三角比)	単元導入
	第2回	余弦定理		
	第3回	三角形と比・三角形の五心		
11月期	第1回	円に関する定理	図形の性質	数学A
	第2回	データの分析①		
	第3回	データの分析②		
12月期	第1回	複素数	複素数と方程式	単元導入
	第2回	高次方程式①		
	第3回	高次方程式②		
冬期講習		二項定理 恒等式 等式の証明 不等式の証明 IA総点検① IA総点検② IA総点検③ IA総点検④	式と証明	数学II
1月期	第1回	点・直線	IA総点検	数学IA
	第2回	円①		
	第3回	円②		
2月期	第1回	軌跡	図形と方程式	数学II
	第2回	領域		
	第3回	軌跡・領域の発展問題		

※未習単元がある場合は講師・進学アドバイザーにご相談ください。

高
1

英
語

数
学